資料３

栃木県地域福祉支援計画（第４期）の骨子（案）について

第１章　計画の趣旨

１　計画策定の趣旨
２　計画の性格と位置づけ
３　計画期間
（令和３(2021)年度から令和８(2026)年度まで（６年間））

第２章　地域福祉を取り巻く現状と課題

１　第３期計画の推進状況
※ 第３期計画で設定している７つの指標の達成状況を記載
２　地域社会の状況
（１）人口構造の変化・少子高齢化の進行
（２）世帯構造の変化
（３）要援護者等の状況
※ 分野属性毎（高齢者・障害者・児童・生活困窮者等）に記載
（４）福祉的課題を抱える世帯の状況調査結果
（５）福祉サービスの適切な利用
（６）福祉人材等の確保
（７）地域福祉の計画的な推進
（８）サービスの質の向上
※ 関連データのグラフ等を掲載
３　地域福祉を取り巻く課題
○　人口減少、少子高齢化の進行
○　地域のつながりの希薄
○　世帯構造の変化
○　要支援者・要介護者等の増加
○　個人や世帯が抱える課題の多様化・複雑化
○　介護人材等の確保
○　サービスの質の向上

第３章　計画の目指す方向

１　安心して暮らせる地域づくり
２　地域を担うひとづくり
３　地域福祉の基盤づくり

「オール“とち”ぎ」で「“まる”ごと」取り組む
『とちまる地域共生社会の実現』
～ 住民が互いに支え合いながら、
安心して暮らせるまちづくり ～

第４章　地域福祉施策の展開

<u>施策１　安心して暮らせる地域づくり</u>
（１）緩やかに見守り、つながる地域づくり
（２）災害に備えた取組の促進
（３）ひとにやさしいまちづくりの推進
<u>施策２　地域を担うひとづくり</u>
（１）ひとに寄り添い、支え合う気運の醸成
（２）地域住民等による社会貢献活動の充実
（３）福祉人材の育成・確保
<u>施策３　地域福祉の基盤づくり</u>
（１）包括的な支援体制の構築促進
（２）社会福祉協議会の取組の充実
（３）成年後見制度等の利用促進
（４）福祉サービスの質の確保・向上
（５）福祉の充実に向けた財源の確保

第５章　計画の推進に向けて

１　計画の推進体制
（１）県の推進体制
（２）市町との連携
２　計画の進行管理